

## ダイバシティワイレス受信機

品番 WX-1020

### 取扱説明書

(工事説明付)

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

300MHz帯ダイバシティ方式

上手に使って上手に節電



### もくじ

#### ● 取扱説明

安全上のご注意	1
設置上のお願い	2
使用上のお願い	2
各部の名称と働き	3
操作のしかた	4
故障と思われましたら	4

#### ● 工事説明

アンテナの設置	5～8
接続のしかた	9
チューナユニットの組み込みかた	10
入力および出力回路を平衡形にする場合	11～12
スタッキングについて	13
ラックマウントのしかた	13
定格・付属品	14
保証とアフターサービス	15

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

### 異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

### 電源コードを熱器具に近づけない



コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。

禁止

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

- 抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

## 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となります。

禁止

## 電源コードを傷つけない



重いものをのせたり、はさんだりするとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

禁止

- 修理は販売店にご連絡ください。

## ⚠ 注意

## 通風孔をふさがない



内部に熱がこもり火災の原因となります。

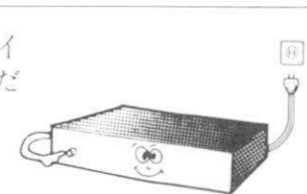
禁止

このたびは、パナソニック ダイバシティワイヤレス受信機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

## 設置上のお願い

### ご使用電源はAC100V

ご使用後は必ず電源スイッチを「切」にしてください。



### ダイバシティ効果について

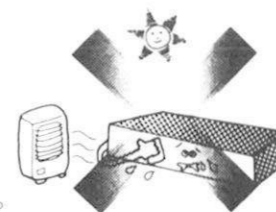
十分なダイバシティ効果を得るために2本のアンテナ間隔は5～20m以内にしてください。

### 近くの妨害電波に注意

同じ周波数の妨害電波、高周波を使う機器がないかを確認してください。やむをえず雑音源の近くで使用する場合は、ワイヤレスマイクとワイヤレスアンテナの距離を2～10mにしてください。なお、ワイヤレスアンテナから2m以内に近づきますと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。また、送信所の送信アンテナの直下では到達距離が短くなる場合があります。

### 本機の設置場所は

直射日光の当たる所や温風吹出口近くは避けてください。また、湿気、ほこりおよび振動の多い場所に設置すると故障の原因になることがあります。



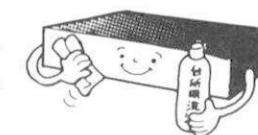
## 使用上のお願い

ワイヤレスマイクの周波数は、受信機の周波数と合わせて使用してください。

マイクロホンどうしは、50cm以上離してください。

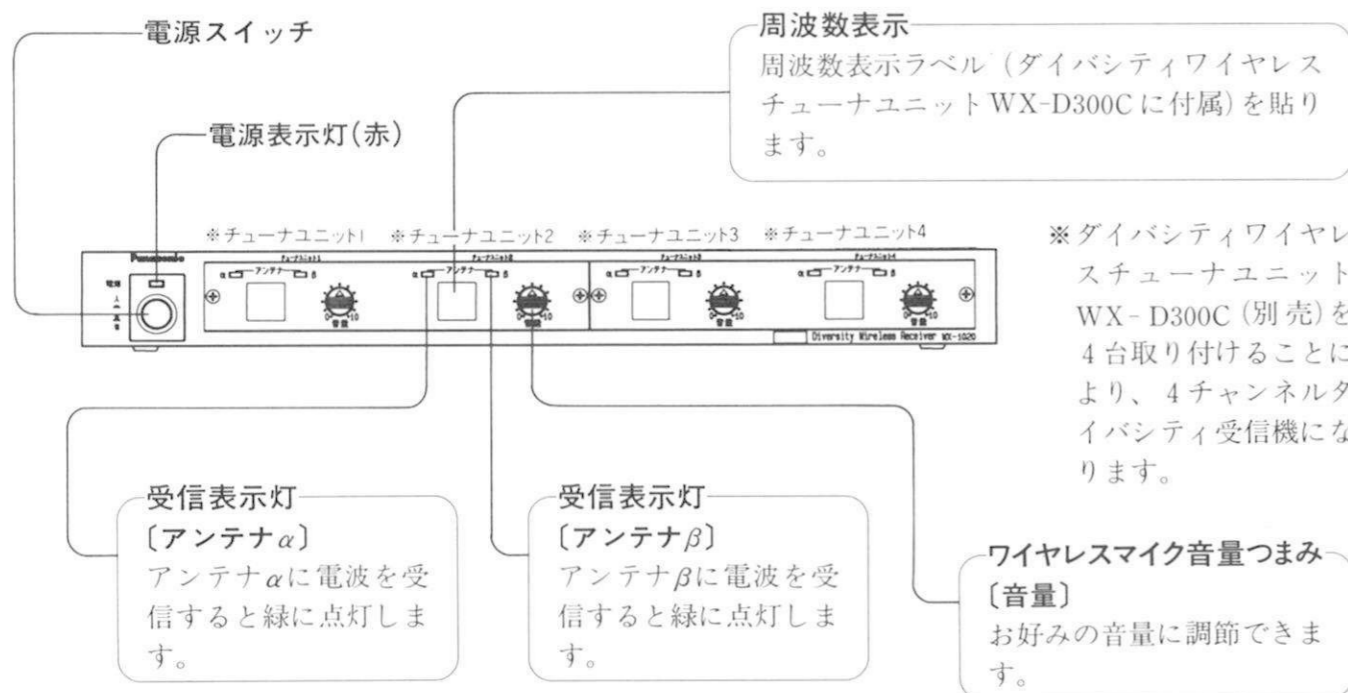
### お手入れ

- ベンジンやシンナーは、絶対に使用しないでください。ケースが変形したり、変色することがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。
- ケースの汚れは乾いた布でふいてください。ひどい汚れは、水か台所用洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしておきます。

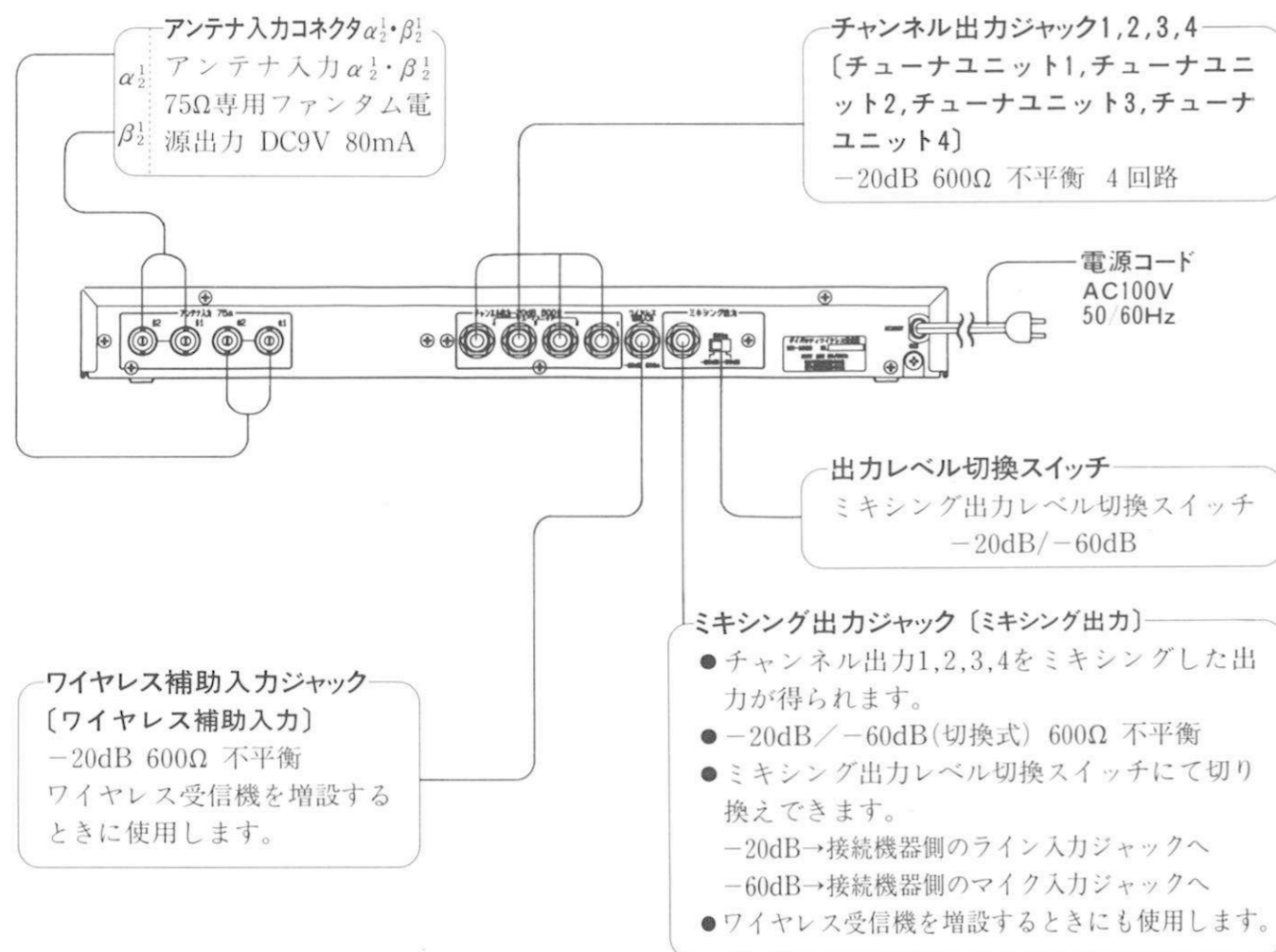


# 各部の名称と働き

## 前面



## 後面



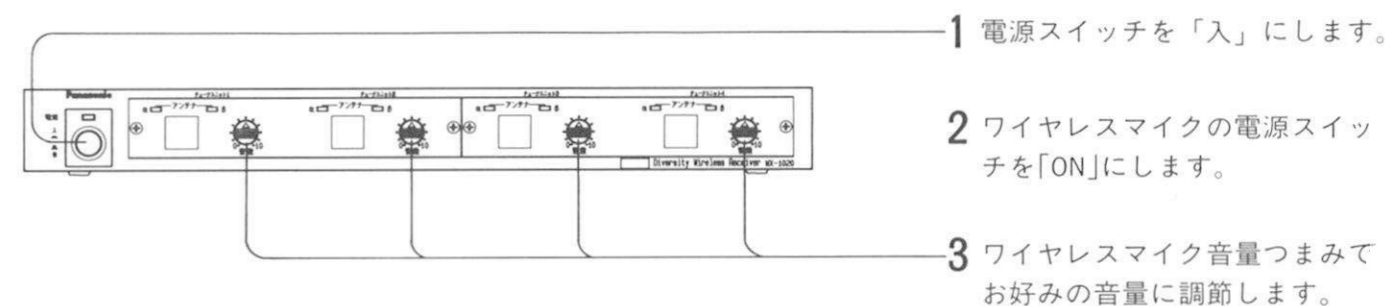
# 操作のしかた

## ご注意

- ワイヤレスマイクの周波数は、受信機の周波数と合わせて使用してください。
- マイクロホンどうしは、50cm以上離してください。

## 300MHz帯周波数表

C11	322.050MHz [C11チャンネル・ブラウン(茶)]
C12	322.100MHz [C12チャンネル・レッド(赤)]
C13	322.250MHz [C13チャンネル・オレンジ(橙)]
C14	322.350MHz [C14チャンネル・イエロー(黄)]



# 故障と思われましたら

症 状	点 検 項 目	処 置
電源スイッチを「入」にしても電源が入らない。	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込みます。
受信しない。	ワイヤレスマイクの電源スイッチは「ON」になっていますか。	ワイヤレスマイクの電源スイッチを「ON」にします。
	ワイヤレスマイクの乾電池は消耗していませんか。	新しい乾電池と交換します。

# 工事説明

本機の工事は、必ず販売店に依頼してください。また、工事の場合は、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## アンテナの設置

### ■ワイヤレスアンテナ設置のお願い

アンテナは、WX-1430を使用してください。

※必ず、アンテナの取扱説明書をよくお読みください。

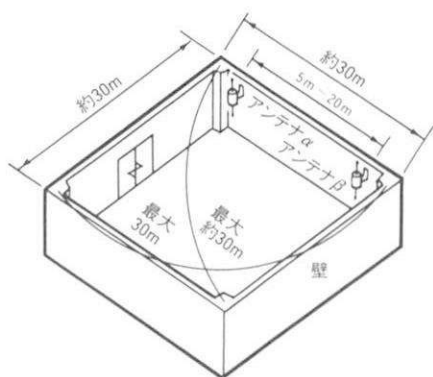
- マイクの使用位置から直視できる場所に設置してください。  
天井や壁などの内装材の裏側には絶対に取り付けしないでください。
- ワイヤレスマイクはアンテナから2m以上離してお使いください。2m以内に近づきますと、使用していないチャンネルに飛び込みや混信などが発生することがあります。
- アンテナから受信機までのケーブルの長さは、5C-2Vで60m以内、5C-FVで60~100mにしてください。
- アンテナの間隔は5~20mにしてください。  
※ブースタの電源(DC9V)はWX-1020から同軸ケーブルを経由して供給されます。
- とくに豪雪地帯においては直接雪が積らないように軒下に取り付けてください。天井へは横付でも、垂直に取り付けても可能です。
- 邪魔になったり破損したりしない高さに取り付けてください。

### ■次のような場合はアンテナを増設してください。

- 大宴会場や展示場で仕切がある場合。
- 幕がある舞台と客席をカバーする場合。
- ワイヤレスマイクの使用範囲が広く、カバーしきれない場合。
- ワイヤレスアンテナを増設する場合は(5本以上)、アンテナ混合器(D-772-35P：別売幹旋品)が必要です。

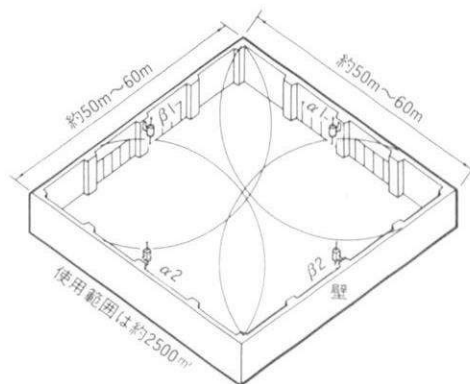
### ■アンテナを2本使用する場合

- アンテナを壁面に取り付けた場合

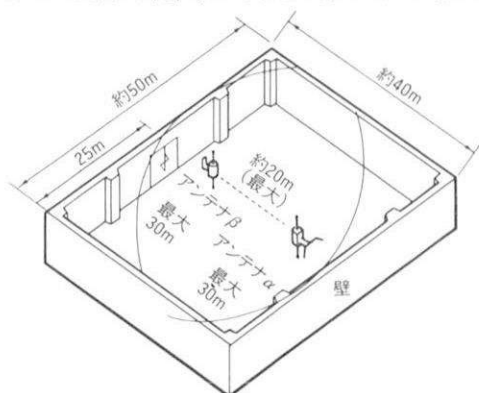


### ■アンテナを4本使用する場合

- アンテナを壁面に取り付けた場合



- アンテナを使用範囲の中央天井に取り付けた場合



# アンテナの設置

## アンテナを多数使用する場合（5本以上最大8本まで）

①半径30mの円で使用範囲がカバーできるようにアンテナを設置してください。

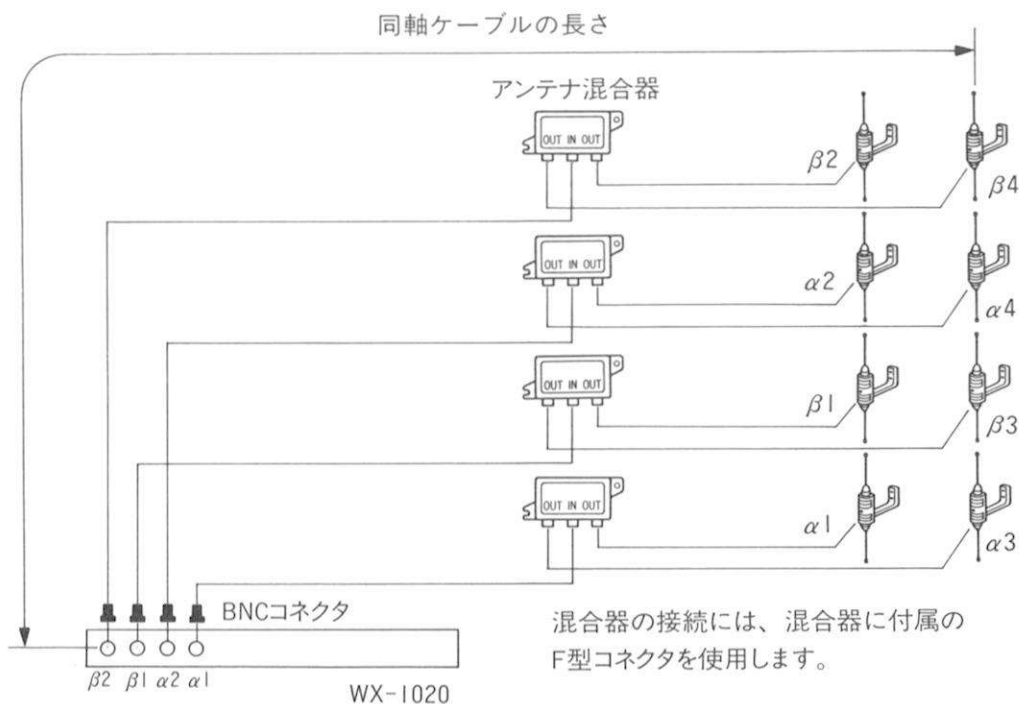
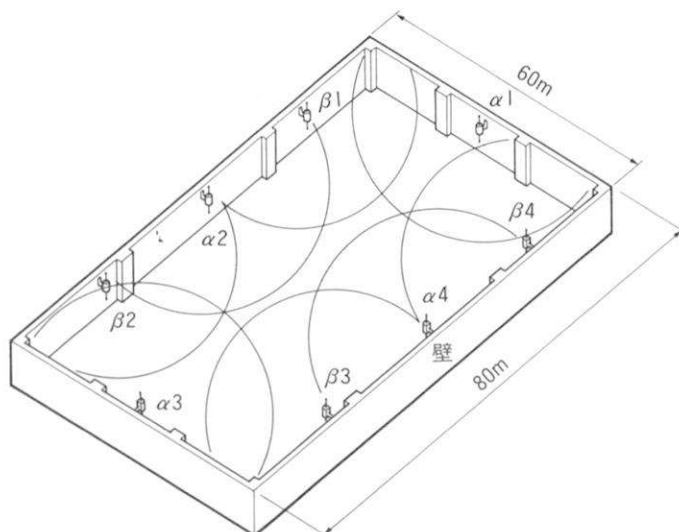
② $\alpha$ 、 $\beta$ のアンテナは交互に配置してください。

③アンテナ混合器（別売特注品）が必要です。

品番 D-772-3SP  
 メーカー名 アンテン工業(株) Tel 0424(83)1191(代)  
 メーカー品名 衛星放送受信用2分配器  
 定価 ¥3,400

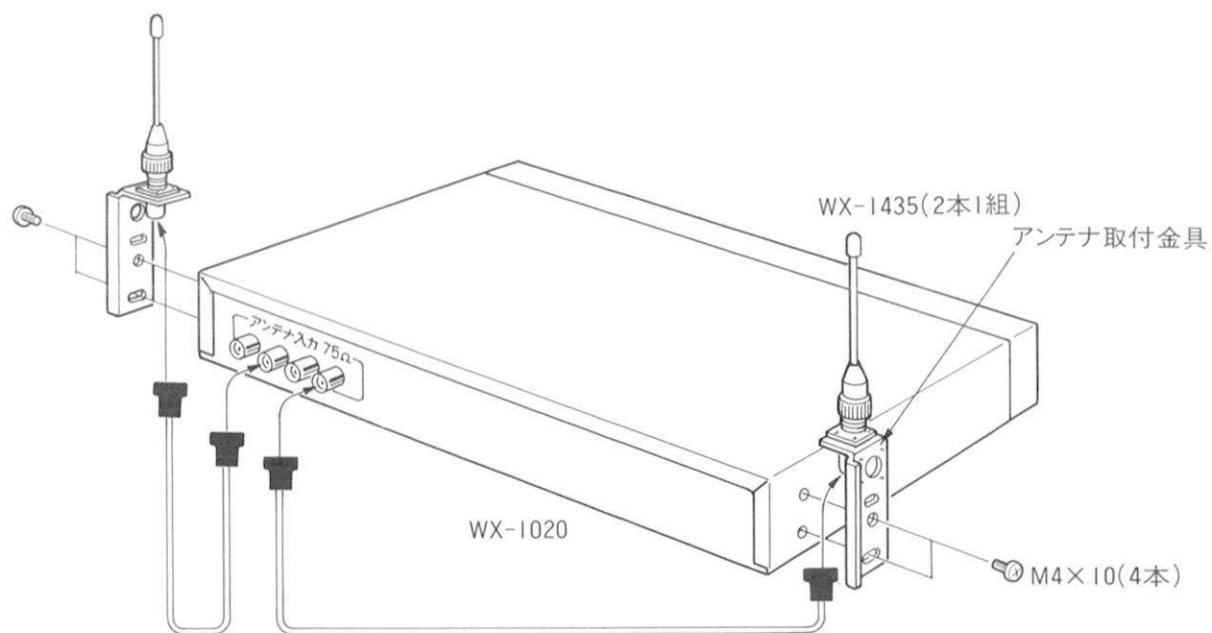
④混合器を含めた、同軸ケーブルの長さは次のようにしてください。

3C-2V ( $\phi 5.4\text{mm}$ ) 30m以内  
 5C-2V ( $\phi 7.4\text{mm}$ ) 60m以内  
 5C-FV ( $\phi 7.5\text{mm}$ ) 60~100m以内



## ■ ホイップアンテナWX-1435の取り付けかた

本体側面のねじを利用してアンテナ取付金具を固定します。



接続ケーブル(別売)  
AG-C20(3mビデオケーブル)  
(松下電器産業(株)オーディオ・ビデオシステム(事)扱い)

# アンテナの設置



## 800MHz帯ワイヤレスシステムとの混用

800MHz帯ワイヤレス（6波）と組み合わせ、最大10波（300MHz帯は4波）を使用できます。


### ●講堂などで10波使用する例

800MHz同時使用 6波  
(B11~B16)  
(ダイナミックレンジ96dB  
受信機WX-4020, 4040)

300MHz  
同時使用 4波  
(C11~C14)  
(ダイナミック  
レンジ82dB  
受信機WX-1020)  
WX-1500 WX-1600


 スピーチ
  タイピン

WX-4400




プレストック

WX-4100




スピーチ

WX-4300




タイピン

WX-4200



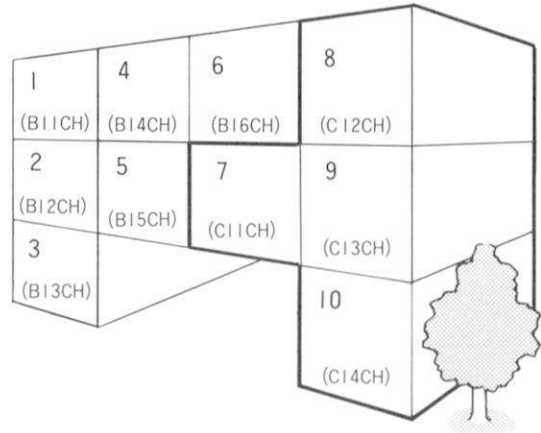
ボーカル

WX-4370

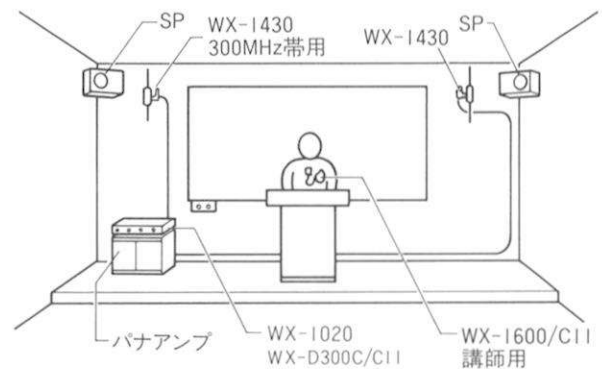


インスト  
ラクター

### ●同一建物内 6室以上、10室までワイヤレス受信機を使用する例



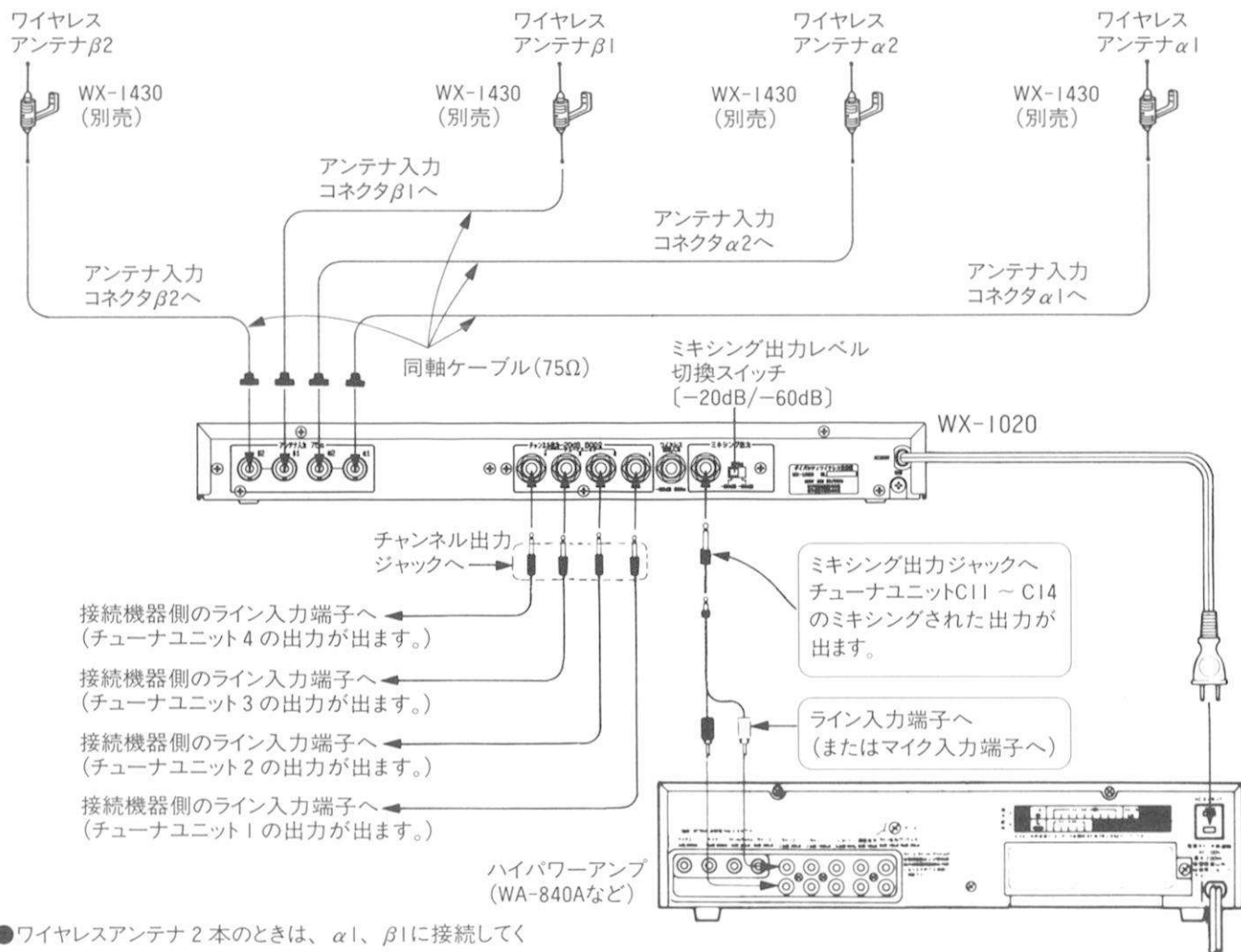
1～6：800MHz帯 (B11～B16ch)  
7～10：300MHz帯 (C11～C14ch)





# 接続のしかた

## ■ 4 チャンネルダイバシティ受信方式の場合



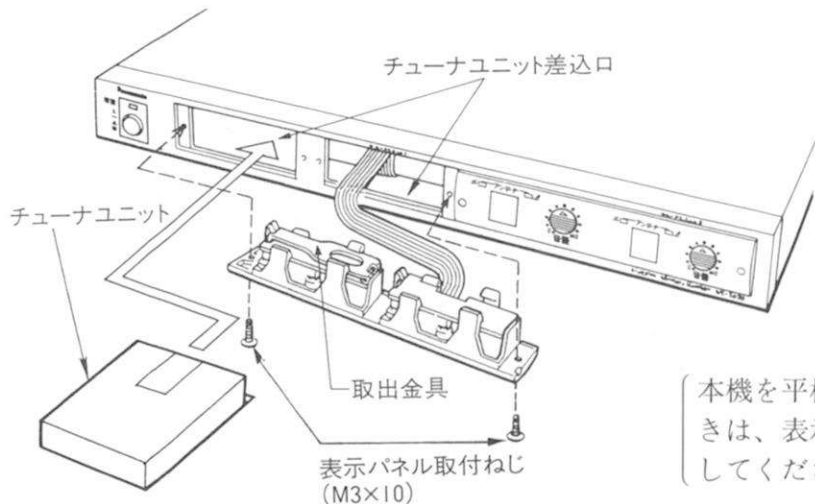
- ワイヤレスアンテナ2本のときは、α1、β1に接続してください。
- ワイヤレスアンテナ5本以上のときは、6ページをご覧ください。

# チューナユニットの組み込みかた

- チューナユニットは300MHz帯用WX-D300C(C11~C14:別売)です。
- 周波数はワイヤレスマイクの周波数と合わせてください。

## チューナユニットの組み込みかた

1. 前面の表示パネル取付ねじ各2本を外し、表示パネルを外してチューナユニットを差し込みます。

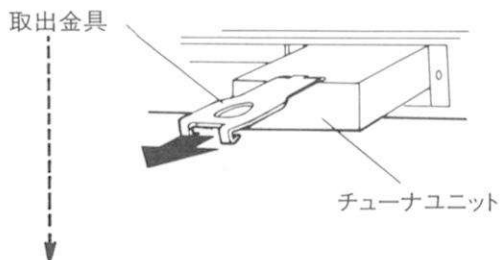


〔本機を平板上でチューナユニットを取り付けるときは、表示パネルのコネクタを外して本体から離してください。〕

2. 周波数表示ラベル (ダイバシティワイヤレスチューナユニットWX-D300C に付属) を表示パネルに貼ります。

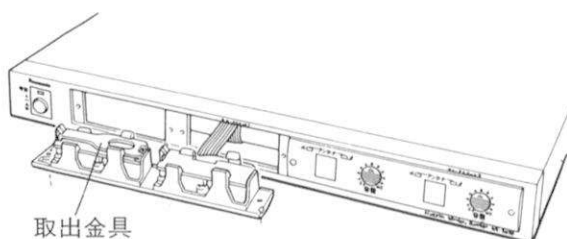
## チューナユニットを交換する場合

付属の取出金具を、本機のチューナユニット差込口に入れ、チューナユニットの凹部に引っ掛けて抜き出します。

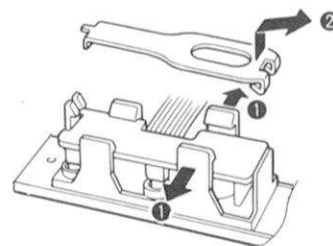


取出金具はチューナユニット1の、差込口の表示パネル裏側に取り付けてあります。

〔お手数ですが、使用後は金具を元の位置に取り付けてから表示パネルを本体に固定してください。〕



取出金具を外す場合は、爪を①、②の順で開いて外します。

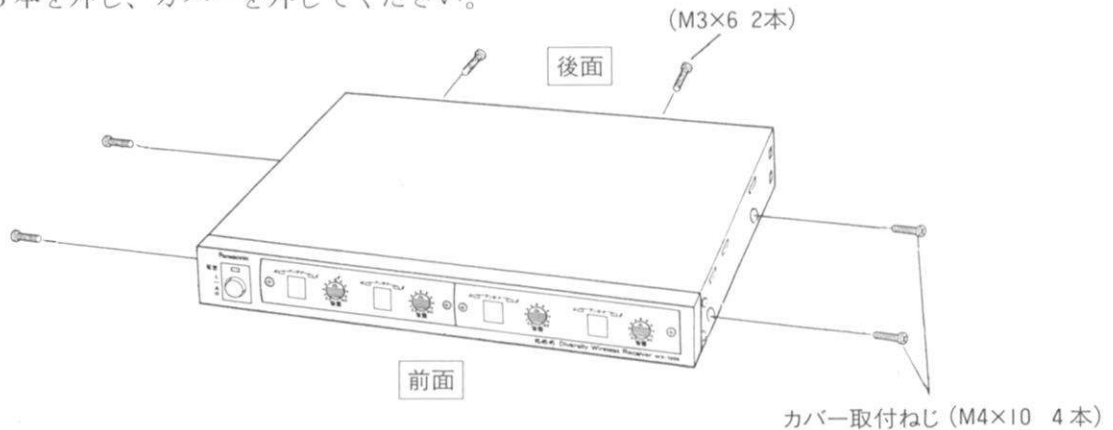


爪、基板などの破損を避けるため、完全に外れないうちは、無理な力を加えないでください。

# 入力および出力回路を平衡形にする場合

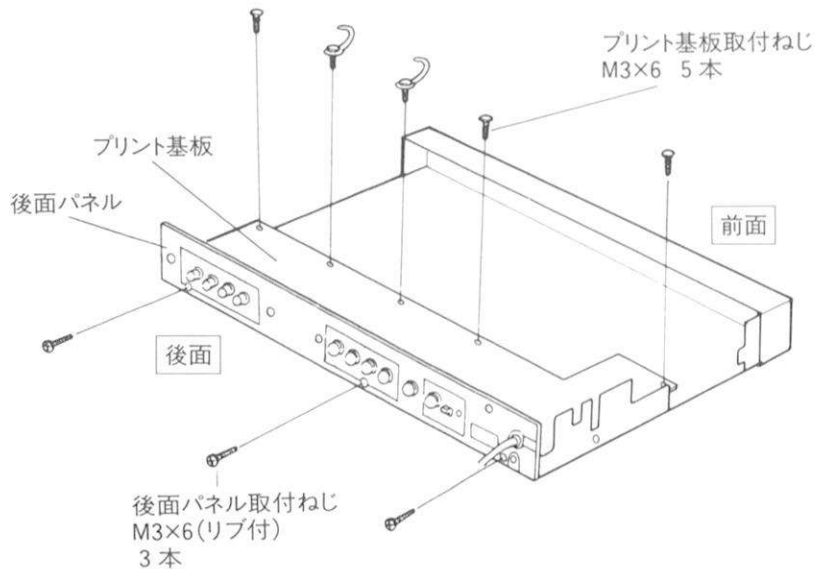
## ■カバーの外しかた

カバー取付ねじ 6 本を外し、カバーを外してください。

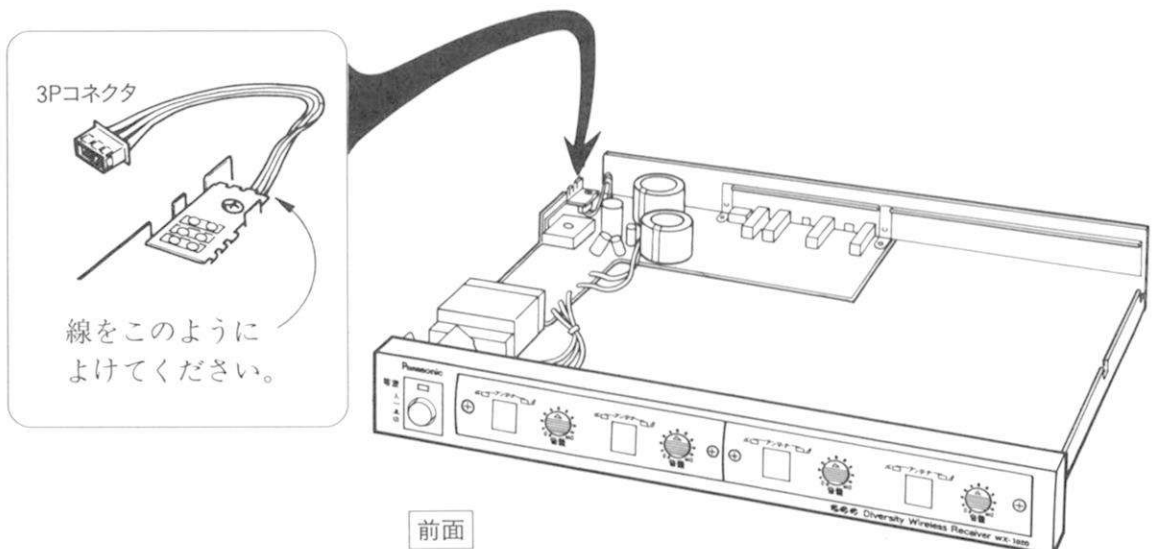


## ■プリント基板の外しかた

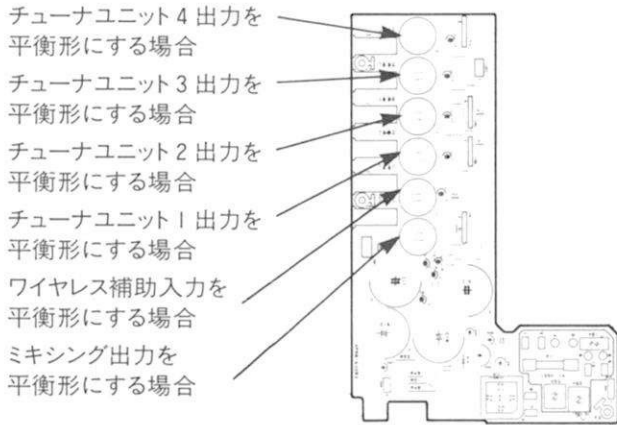
1. カバー取付ねじ 6 本を外し、カバーを外します。
2. 後面パネル取付ねじ 3 本、および基板取付ねじ 5 本を外します。



3. 3Pコネクタ (CN2) を外し、基板を后面板ごと外します。



# 入力および出力回路を平衡形にする場合



1. オーディオトランス YWX240TM02 (AVシステム(事)サービス課扱い)、抵抗 (2.2k) ERD-S 2 TJ222 2本を用意してください。
2. 基板を外してください。

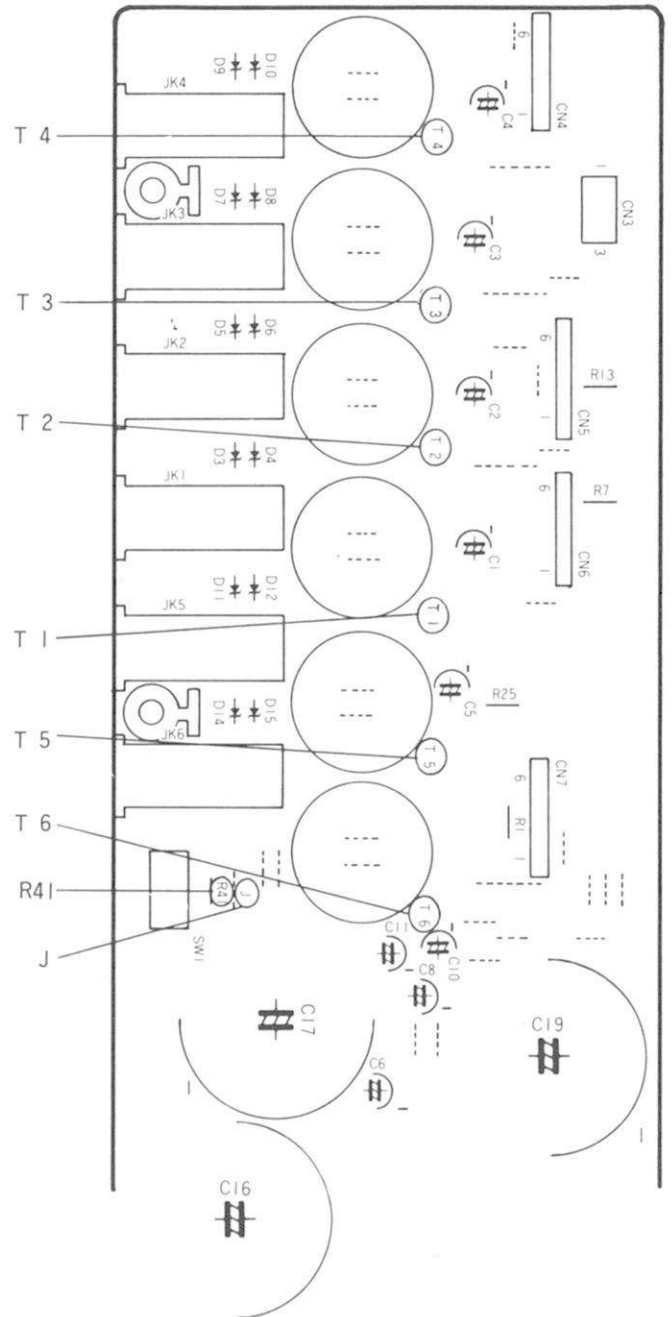
## ワイヤレス補助入力回路および各チューナユニット出力回路を平衡形にする場合

1. 各トランス取り付け場所 (T4・T3・T2・T1・T5・T6) にあるジャンパ線 2本を外します。
2. 基板の表示番号にトランスの番号を合せて挿入し、はんだ付けします。

T 4	チューナユニット 4 出力
T 3	チューナユニット 3 出力
T 2	チューナユニット 2 出力
T 1	チューナユニット 1 出力
T 5	ワイヤレス補助入力

## ミキシング出力回路を平衡形にする場合

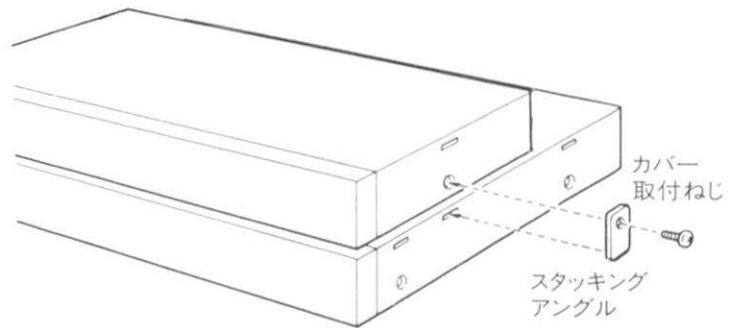
1. T6トランス取り付け場所にあるジャンパ線 2本を外します。
2. R41 (4.7k) と R41横にある J を外して各々に 2.2 kΩ の抵抗を挿入し、はんだ付けします。
3. 基板の表示番号にトランスの番号を合せて挿入し、はんだ付けします。



# スタッキングについて

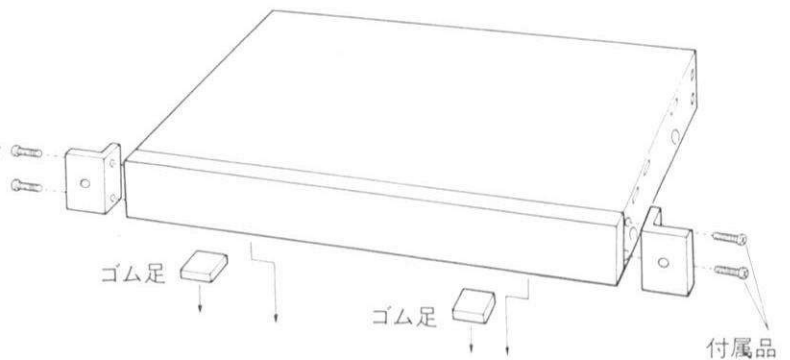
①800MHzワイヤレス受信機(WX-4040)などの両側面のカバー取付ねじ(M4×10)を外します。

②スタッキングアングル(付属)で固定します。



# ラックマウントのしかた

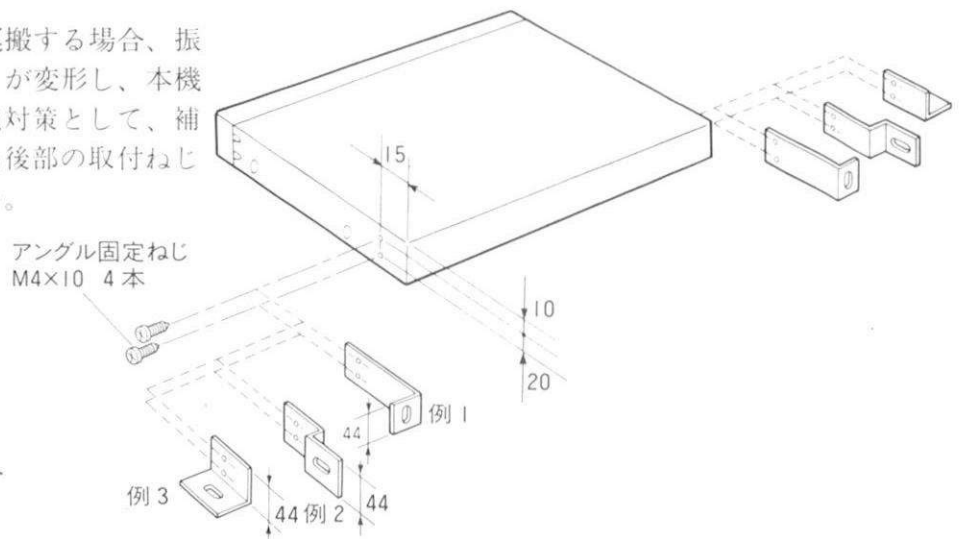
- ラック内の温度が+50℃以上にならないよう対策をしてください。
- EIA規格相当のラックにマウントすることができます。
- ラックマウントする場合、次の工事部品(別売)が必要です。  
飾りねじ(W2-MSS/5008) …………… 2



## 取り付けかた

- ①ゴム足4コを外します。
- ②ラックアングルを付属のねじで取り付けます。
- ③ラックに取り付けます。

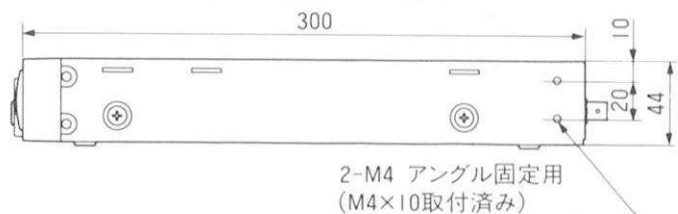
※移動用ラックに収納して移動、運搬する場合、振動、衝撃を受けてラックマウントが変形し、本機が破損する恐れがあります。補強対策として、補強アングル(現地製作)を使い製品後部の取付ねじによりラックに固定してください。



## 補強アングル

- 例1. ラック後面に取り付ける場合  
例2. ラック側面            "  
例3. ラック底面            "

## 側面取付穴位置寸法



アンクル製作の際の  
最低条件

使用ねじ：M4×10

アンクル板厚：鉄板2mm以上

# 定格・付属品

## 定 格

電 源：AC100V 50/60Hz  
消 費 電 力：18W  
アンテナ入力：75Ω 2系統2回路 BNCコネクタ×4  
●アンテナ用ファンタム  
電力出力9V 80mA(最大)  
受信周波数：300MHz帯C11～C14(WX-D300Aによる)  
(WX-D300Cを4台まで取り付け可能)  
※受信感度：30dB以上  
(20dB $\mu$ V入力、2.25kHzFMにて)  
※スケルチ感度：20dB $\mu$ V以下  
※S / N：50dB以上  
(60dB $\mu$ V入力、2.25kHzFMにて)  
※ダイバシティ：40dB以上(60dB $\mu$ V入力にて)  
※切換雑音：3%以下(60dB $\mu$ V入力、4.8kHzFMにて)  
※周波数特性：100～7,000Hz(50 $\mu$ sエンファシス)  
最大出力：+10dB

※残留雑音：30 $\mu$ V以下  
ワイヤレス：-20dB 600Ω 不平衡  
補助入力：-20dB 600Ω 不平衡 4回路  
チャンネル出力：-20dB 600Ω 不平衡 4回路  
ミキシング出力：-20dB/-60dB(切換式) 600Ω 不平衡  
周囲温度：-10°C～+50°C  
寸 法：420(幅)×44(高さ)×300(奥行)mm  
(高さはゴム足含まず、奥行はつまみ、  
表示パネル、コネクタ含まず)  
質量(重量)：約3.9kg(チューナユニット含まず)  
仕 上 げ：  
前面パネル：ABS樹脂AVアイボリー塗装  
(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)  
表示パネル：ABS樹脂AVアイボリー塗装  
カバ ー：塩ビ鋼板AVアイボリー  
※はWX-D300C(別売)を取り付けた場合

## 付属品

大形単頭プラグ ..... 1  
スタッキングアングル ..... 2  
ラックアングル取付ねじ(M4×10) ..... 4  
ラックアングル(IU) ..... 2

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

---

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！

## ■保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

## ■修理を依頼される時

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お 買 い 上 げ 年 月 日	年	月	日	品番 <b>WX-1020</b>
販 売 店 名				電話 ( ) -

松下電器産業株式会社  
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部  
〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045) 932-1231 (大代表)